

アレルギー症状がでたら どうするの？

～誰でもできる救急対応～

千葉大学大学院医学研究院総合医科学
井上祐三朗



アレルギー症状が ある児を見たら

- ①エピペン®を打つ
- ②内服薬を飲ませる
- ③保護者に連絡する
- ④救急車を呼ぶ
- ⑤周囲に助けを求める



様々な アレル ギー症状

目の前で
おこったら
誰でも
慌てて
しまいますね



Today's
Preparation...
Tomorrow's
SUCCESS!



本日のお話し

- 🍃 食物アレルギーの症状
- 🍃 アナフィラキシーとは
- 🍃 自宅・園・学校でできる救急対応

新規発症の原因食品（2020年）

(n=2764)

	0才 (1 356人)	1～2才 (676人)	3～6才 (369人)	7～17才 (246人)	≧18才 (1 17人)
1	鶏卵 55.6%	鶏卵 34.5%	木の実類 32.5%	果物類 21.5%	甲殻類 17.1%
2	牛乳 27.3%	魚卵類 14.5%	魚卵類 14.9%	甲殻類 15.9%	小麦 16.2%
3	小麦 12.2%	木の実類 13.8%	落花生 12.7%	木の実類 14.6%	魚類 14.5%
4		牛乳 8.7%	果物類 9.8%	小麦 8.9%	果物類 12.8%
5		果物類 6.7%	鶏卵 6.0%	鶏卵 5.3%	大豆 9.4%

(各年齢群ごとに5%以上を占めるものを上位5位表記)

今井孝成他 アレルギー 2020;69:701-5を参考にデータを作成

本日のお話し

- 🍃 食物アレルギーの症状
- 🍃 アナフィラキシーとは
- 🍃 自宅・園・学校でできる救急対応

誤食発症の原因食品（2020年）

(n=2017)

	0才 (1 63人)	1～2才 (679人)	3～6才 (623人)	7～17才 (448人)	≧18才 (104人)
1	鶏卵 52.1%	鶏卵 41.4%	牛乳 29.9%	鶏卵 21.9%	小麦 19.2%
2	牛乳 31.3%	牛乳 37.7%	鶏卵 26.5%	牛乳 21.4%	甲殻類 13.5%
3	小麦 11.7%	小麦 14.0%	小麦 16.2%	落花生 14.3%	ソバ 10.6%
4			木の実類 10.1%	木の実類 12.5%	木の実類 8.7%
5			落花生 9.5%	小麦 8.0%	牛乳 6.7%

(各年齢群ごとに5%以上を占めるものを上位5位表記)

今井孝成他 アレルギー 2020;69:701-5を参考にデータを作成

理科の知識の復習

1. 食物はどこから
体内に吸収されますか？

2. 食物が体内に吸収されるのに
何時間かかるのでしょうか？



食物アレルギーの全身症状



じんましん



呼吸困難



血圧低下(蒼白)

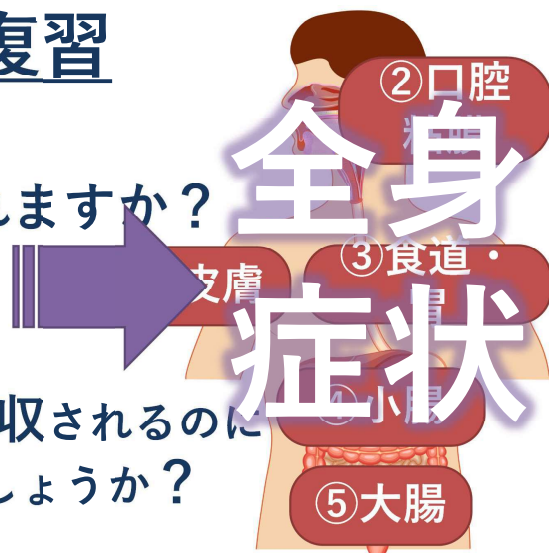


吐き気・嘔吐

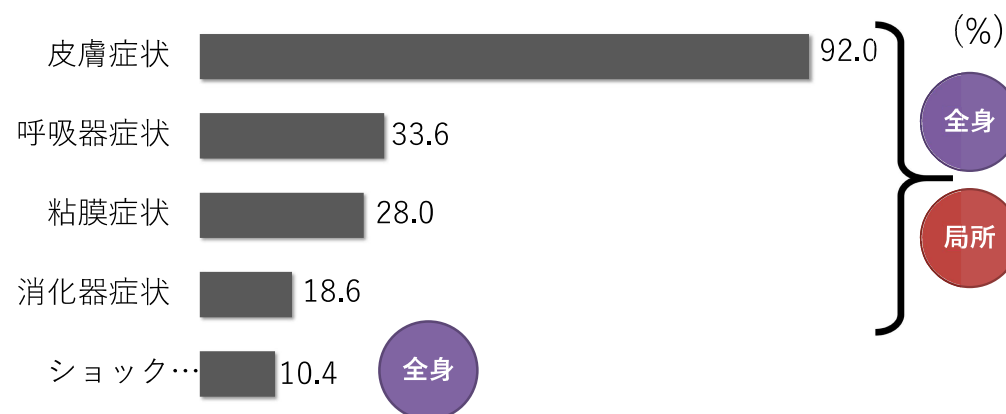
理科の知識の復習

1. 食物はどこから
体内に吸収されますか？

2. 食物が体内に吸収されるのに
何時間かかるのでしょうか？

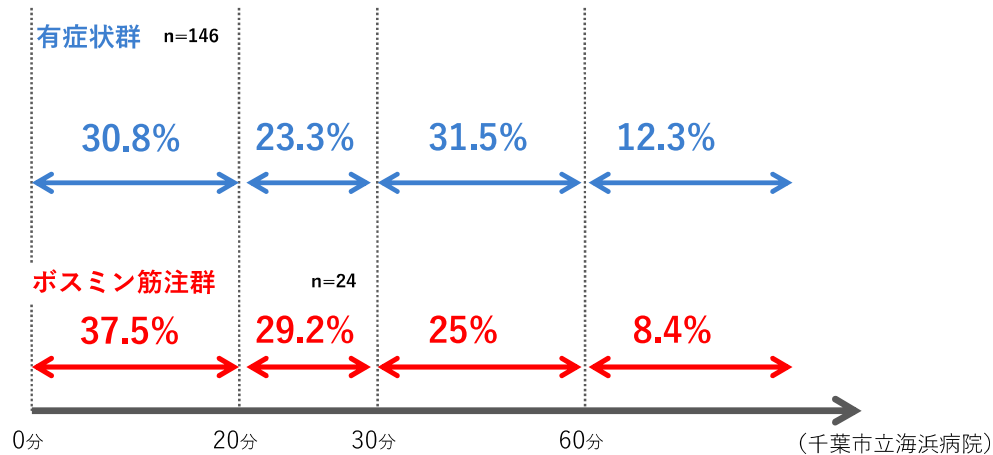


食物アレルギーの症状の頻度



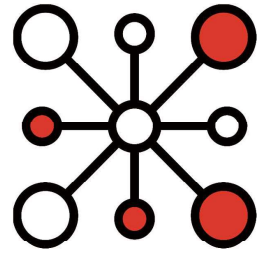
(食物アレルギー診療ガイドライン 2016)

症状出現までの時間



アナフィラキシーの定義

アレルゲン等の侵入により
複数臓器に
全身性アレルギー症状が惹起され
生命に危機を与えうる過敏反応



(アナフィラキシーガイドライン 2014 日本アレルギー学会)

本日のお話し

- 食物アレルギーの症状
- アナフィラキシーとは
- 自宅・園・学校でできる救急対応



血圧低下や意識障害を伴う場合
「アナフィラキシーショック」と呼んでいた

これまでのアナフィラキシーの定義

	アレルゲンへの曝露	必須の症状	皮膚粘膜	呼吸器	循環器	消化器
1	問わない	皮膚・粘膜症状	<u>必須</u>	どちらか1つ以上		
2	アレルゲンとなりうるものに曝露		4つのうち2つ以上			
3	当該患者のアレルゲンに曝露	血圧低下			<u>必須</u>	

皮膚症状がない場合 診断が遅れ致死的事となることがある

	アレルゲンへの曝露	必須の症状	皮膚粘膜	呼吸器	循環器	消化器
	問わない	皮膚・粘膜症状	<u>必須</u>	どちらか1つ以上		
2	アレルゲンとなりうるものに曝露		4つのうち2つ以上			
3	当該患者のアレルゲンに曝露	血圧低下			<u>必須</u>	

致死的なアナフィラキシーは 呼吸器もしくは循環器症状のみで発症することがある

	アレルゲンへの曝露	必須の症状	皮膚粘膜	呼吸器	循環器	消化器
	問わない	皮膚・粘膜症状	<u>必須</u>	どちらか1つ以上		
	アレルゲンとなりうるものに曝露		4つのうち2つ以上			
3	当該患者のアレルゲンに曝露	血圧低下			<u>必須</u>	

消化器症状は評価が難しく 過剰にアナフィラキシーと診断されることがある

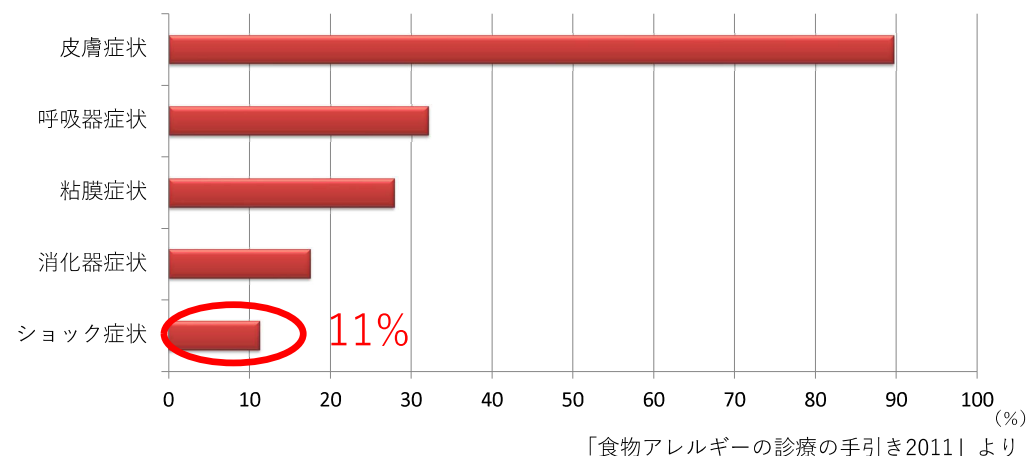
	アレルゲンへの曝露	必須の症状	皮膚粘膜	呼吸器	循環器	消化器
1	問わない	皮膚・粘膜症状	<u>必須</u>	どちらか1つ以上		
	アレルゲンとなりうるものに曝露		4つのうち2つ以上 			
3	当該患者のアレルゲンに曝露	血圧低下			<u>必須</u>	

新しいアナフィラキシーの定義

- アナフィラキシーは通常**急激に発症**し、時に**致死**となる重篤な全身性過敏性反応である。
- **重症**のアナフィラキシーは皮膚症状やショック症状がなくても、**呼吸器、循環器症状が認められ致死**的となることがある

(WAO 2020)

即時型食物アレルギー症状の頻度

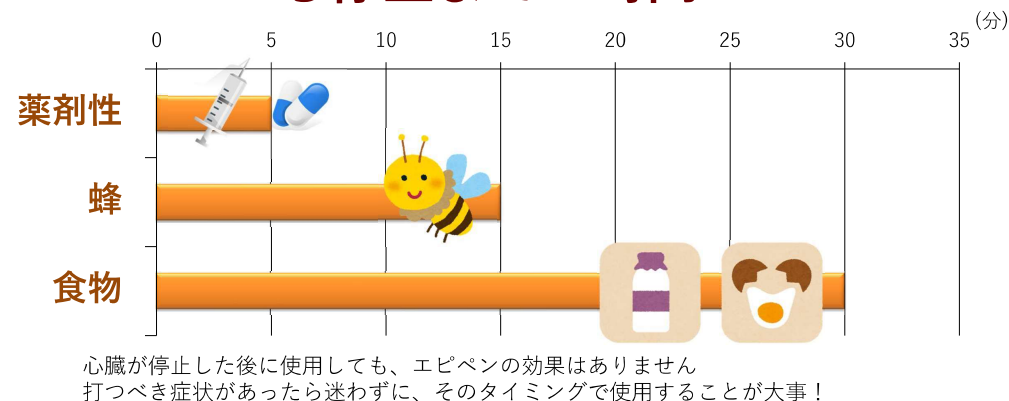


新しいアナフィラキシーの定義

	アレルゲンへの曝露	必須の症状	皮膚粘膜	呼吸器	循環器	重篤な消化器
1	問わない	皮膚・粘膜症状	<u>必須</u>	少なくとも1つ以上		
2	当該患者のアレルゲンまたは可能性が極めて高いものに曝露	呼吸器循環器		血圧低下 気管支攣縮 喉頭症状のいずれか		

(アナフィラキシーガイドライン 2022)

アナフィラキシー症状発現から心停止までの時間



PUMPHREY RS. Clin Exp Allergy 2000 ; 30 : 1144-1150